富士通グループ環境方針

基本理念

富士通グループは、長年にわたりテクノロジーを通じてお客様に価値を提供してきたグローバル企業として、気候変動をはじめとする地球環境問題への対応を経営の重要課題と位置づけています。
「イノベーションによって社会に信頼をもたらし世界をより持続可能にしていくこと」というパーパスのもと、事業活動を通じて環境負荷の低減と持続可能な社会の実現を目指します。

本方針の実行にあたっては、経営層のリーダーシップにより明確な役割と責任体制を定め、自社の事業活動に加え、サプライヤー、パートナーを含むバリューチェーン全体を通じた関係者と協働し、富士通グループ全体で次の取り組みを推進します。

行動指針

1. 気候変動への対応

温室効果ガス排出量の削減を推進し、脱炭素社会の実現に向けて、気候変動の緩和および適応に貢献します。

2. 資源循環の推進

資源の効率的な活用と循環を推進し、製品・サービスのライフサイクル全体を通じて循環型社会の形成に寄与します。

3. 生物多様性の保全

事業活動が自然に依存し、かつ影響を及ぼしていることを認識し、生物多様性の保全と回復を推進することにより、自然共生社会の実現を目指します。

4. 環境汚染の予防

エネルギー効率の改善や廃棄物および化学物質等の適正な管理により、環境負荷の低減と汚染の予防に取り組みます。

5. 環境マネジメントシステムによる継続的改善

- 環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善を行います。
- 環境、社会課題の解決に向けた目標を設定し、目標達成のための施策を実行するとともに、達成状況の定期的な評価、レビューを実施します。

6. コンプライアンス等への対応

事業活動を行う国や地域に適用される環境関連法令、およびその他合意した事項を遵守します。

© 2026 Fujitsu Limited

7. ステークホルダーエンゲージメント

環境への取り組みに関する情報開示を適切に行い、ステークホルダーと双方向のコミュニケーションを通じて得られたフィードバックを環境活動の改善に繋げます。

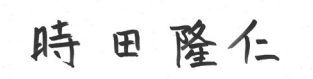
8. 社員への環境教育・啓発活動

社員一人ひとりの環境意識の向上を図るため、継続的な教育・啓発活動を展開します。

2026 年 10 月改定

富士通株式会社

代表取締役社長



© 2026 Fujitsu Limited